学校番号	213

令和３年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高等学校　改訂版　新現代社会」(第一学習社)						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・私たちが生きている現代の社会について、政治や倫理、経済といった幅広い視点から学習していきましょう。
・授業は、教科書だけはなく、映像資料などを使用し、みなさんが現代社会に興味をもてるように工夫します。
・授業は、ノートだけではなく適宜、プリント資料を配布しわかりやすいように進めていきます。

２　学習の到達目標

人間の尊重と科学的な探究の精神に基づき、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考えようとする態度と民主的・平和的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場，考え方を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現する。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付ける。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	授業態度 提出物の状況 ノート 発表	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート 発表	定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	第1編　私たちの生きる社会　世界のさまざまな課題	1 環境と私たちの生活					a:地球環境や資源エネルギー問題、生命科学の問題に対して関心を持ち、意欲的に追求しようとしている。 b: 地球環境や資源エネルギー問題、生命科学の問題について幅広い視野に立って考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c: 地球環境や資源エネルギー問題、生命科学の問題に有用な情報を適切に選択して、効果的に活用することができている。 d: 地球環境や資源エネルギー問題、生命科学の問題についての基本的な事柄や,学び方を理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート ノート 小テスト 発表
		①地球環境のいま(1)	○	○	○	○		
		②地球環境のいま(2)		○		○		
		③私たちの地球を守るために	○	○	○	○		
		２資源・エネルギー問題と私たちの生活						
		①限りある資源	○		○			
		②資源問題の解決をめざして	○	○	○	○		
		３ 科学技術の発達と私たちの生命						
		①科学技術の発達と生命		○		○		
		②生命倫理をめぐる問題	○	○		○		
		４高度情報社会と私たちの生活						
		①情報の高度化の進展				○		
		②高度情報社会の課題	○	○	○	○		

	第2編　現代社会と人間としてのあり方生き方	第１章　青年期と自己の形成 私たちの一日と青年期 ①青年期とは ②青年期を充実させるために ③伝統や文化とのかかわり ④祭りと年中行事 ⑤社会とのかかわり ⑥私たちの生きがい	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ 	a:青年期の自己形成や人間としてよく生きることに対して関心を持ち、意欲的に追求しようとしている。 b: 青年期の自己形成や人間としてよく生きることについて広い視野に立って考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c: 青年期の自己形成や人間としてよく生きることについて有用な情報を適切に選択して、効果的に活用することができている。 d: 青年期の自己形成や人間としてよく生きることについての基本的な事柄や,学び方を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート ノート 小テスト
		第２章　個人の尊重と法の支配 私たちの一生と法 ①個人と国家 ②法の支配 ③基本的人権の保障 ④世界の政治体制	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○	 ○ ○ ○ ○	a: 私たちの生活と政治や国家のかかわりについて関心を持ち、意欲的に探究しようとしている。 b: 基本的人権が保障されるにいたった経緯を，さまざまな情報手段で資料を収集し，具体的事例をあげて考察し、理解できる。 c: 世界のおもな政治体制について教科書の図などを使って理解し、真の民主政治の実現と関連させて考察できる。 d: 私たちの生活と政治や国家のかかわりについて関心を高め、国家はどのような考え方を背景につくられたのかを理解できる。	

		第３章　現代の民主政治と政治 参加の意義 私たちの町と政治					a:現代民主政治や日本国憲法の成立過程、こんにちの日本の政治制度に対して関心を持ち、意欲的に追求しようとしている。 b: 現代民主政治や日本国憲法の成立過程、こんにちの日本の政治制度について広い視野に立って考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c: 現代民主政治や日本国憲法の成立過程、こんにちの日本の政治制度について有用な情報を適切に選択して、効果的に活用することができている。 d: 現代民主政治や日本国憲法の成立過程、こんにちの日本の政治制度についての基本的な事柄や,学び方を理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート ノート 小テスト
		①日本国憲法の基本原理		○		○		
		②平和主義と日本の安全保障		○		○		
		③冷戦終結後の防衛問題		○		○		
		④平等に生きる権利	○	○		○		
		⑤自由に生きる権利	○	○		○		
		⑥豊かに生きる権利	○	○		○		
		⑦新しい人権	○		○			
		⑧基本的人権と公共の福祉	○		○	○		
		⑨国会の運営と権限	○	○		○		
		⑩内閣と行政の民主化	○	○		○		
		⑪裁判所と人権保障	○	○		○		
		⑫地方自治と住民の福祉	○	○		○		
		⑬選挙制度の現状と課題	○		○	○		
		⑭世論の形成と政治参加	○		○	○		
2		第４章　国際政治の動向と日本の役割 国際政治の動向と 私たちにできること					a:こんにちの国際社会のルールや国際社会の取り組み、また国際協力の内容に対して関心を持ち、意欲的に追求しようとしている。 b: こんにちの国際社会のルールや国際社会の取り組み、また国際協力の内容について広い視野に立って考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c: こんにちの国際社会のルールや国際社会の取り組み、また国際協力の内容について有用な情報を適切に選択して、効果的に活用することができている。 d: こんにちの国際社会のルールや国際社会の取り組み、また国際協力の内容についての基本的な事柄や、学び方を理解し，その知識を身に付けている。	
		①国家主権と国際法	○			○		
		②国際連合の役割		○		○		
		③第二次世界大戦後の国際社会	○	○	○			
		④冷戦終結後の国際社会	○			○		
		⑤核兵器の廃絶と国際平和	○	○		○		
		⑥地域紛争と人種・民族問題	○	○	○			
		⑦国境と領土問題	○		○			
		⑧日本の役割と私たちの生き方		○		○		

3		第５章　現代の経済社会と私たちの生活 私たちの町と経済 ①経済と私たちの生活 ②経済体制の変容 ③現代の企業 ④市場のしくみ ⑤国民所得と私たちの生活 ⑥景気変動と物価の動き ⑦財政のしくみと税金 ⑧日本の財政の課題 ⑨金融機関のはたらき ⑩戦後日本経済のあゆみ(1) ⑪戦後日本経済のあゆみ(2) ⑫技術革新の進展と産業構造の変化 ⑬中小企業の現状と役割 ⑭食の安全とこれからの日本農業 ⑮雇用と労働問題 ⑯労働環境の整備 ⑰公害の防止から環境保全へ ⑱消費者問題と消費者主権 ⑲社会保障と福祉社会 ⑳これからの社会保障	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:現代の経済社会のしくみや意義、また、日本の経済のしくみや課題、日本の特質と国民生活に対して関心を持ち、意欲的に追求しようとしている。 b: 現代の経済社会のしくみや意義、また、日本の経済のしくみや課題、日本の特質と国民生活について広い視野に立って考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c: 現代の経済社会のしくみや意義、日本の経済のしくみや課題、また日本の特質と国民生活について有用な情報を適切に選択して、効果的に活用することができている。 d: 現代の経済社会のしくみや意義、また日本の経済のしくみや課題、日本の特質と国民生活についての基本的な事柄や, 学び方を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート ノート 小テスト
		第６章　国際経済の動向と日本の役割 国際経済の動向と私たちにできること ①国際分業と貿易 ②国際経済体制のあゆみ ③国際収支と為替相場 ④国際経済の動向 ⑤進む地域的経済統合 ⑥発展途上国の経済と南北問題 ⑦国際社会のこれから	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	a:こんにちの国際経済の動向と国際協力の内容に対して関心を持ち、意欲的に追求しようとしている。 b: こんにちの国際経済の動向と国際協力の内容について広い視野に立って考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c: こんにちの国際経済の動向と国際協力の内容について有用な情報を適切に選択して、効果的に活用することができている。 d: こんにちの国際経済の動向と国際協力の内容についての基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。	

3	第3編　ともに生きる社会をめざして	第７章　民主社会に生きる倫理 私たちの悩みと倫理 ①豊かな人生を求めて ②日本の伝統的な考え方 ③近代の西洋社会に見られる考え方 ④近代市民社会から大衆社会へ ⑤他者とともに生きる ⑥豊かな社会の実現に向けて ケーススタディ ①社会保障と消費税 ②震災から復興への道のり ③人口問題と私たちの未来	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 差別を生み出す偏見について考え、それを克服して、ともに生きるために私たちは何をすべきか、自分自身の問題として考えられる。 b: 哲学や宗教の役割を理解するとともに、人生を豊かに生きるとはどういうことなのかを多角的に考察できる。 c: 人間の尊厳や科学的なものの考え方、民主的社会を樹立するために必要な考え方の理解を深めるため、図版や原典資料を適切に使用できる。 d: 日本の伝統意識を理解し、生活の中での仏教や儒教、西洋思想の影響について理解し、その知識を身に着けている。 a b: 教科書に掲載されている図版や写真・資料などを適切に使用し、政治課題としてよく取り上げられる消費税について考えたり、捕鯨問題について考えたり、人口問題を通して私たちの未来を考察することができる。 c d: 調べた内容をまとめて発表したり、レポートを作成したりするなど、適切に表現することができる。	定期考査 ワークシート ノート 小テスト 発表

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。